

つくば市ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化が原因と考えられる異常気象による大規模な自然災害が多発しており、国内においても、猛暑や集中豪雨・大型の台風などによる災害が激甚化し、気候変動が人々の生活や生態系にも大きな影響を及ぼしています。

IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の報告書では「人間活動による地球温暖化には疑う余地がない」、「世界の平均気温は、1970年以降、過去2000年間で経験したことの無い速度で上昇している」と示しています。この深刻な影響を回避するには、「産業革命以前の水準から1.5度以内の上昇に抑えるため、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされており、2020年10月、国は「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこと」を宣言しています。

つくば市は、名峰筑波山をはじめとする恵み豊かな自然を有しており、現在を生きる私たちは、このかけがえのない資産を未来の世代に引き継いでいくため、最先端の科学技術を有する研究学園都市の特性を生かして、地域や地球社会が直面する課題を克服していく必要があります。

このことから、本市は、市民、地域、事業者と、地球温暖化がもたらす気候変動が私たちの日常を脅かす深刻なリスクであることを共有するとともに、連携・協力して持続可能な脱炭素社会を「ともに創る」ため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4年（2022年）2月14日

つくば市